

日本糖尿病学会中国四国地方会第63回総会
男女共同参画 ダイバーシティ推進企画 ワークショップ

2025年11月01日
愛媛県県民文化会館 第8会議室

多様な力を活かす糖尿病診療：チーム医療と研究活動の推進

座長

医療法人グランドタワーメディカルコート

香川大学医学部 内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学

藤川 るみ 先生

井町 仁美 先生

愛媛のチーム医療

～愛媛糖尿病チーム医療研修会30年の歩み～

愛媛糖尿病チーム医療研修会 代表世話人

松山赤十字病院 糖尿病・内分泌内科

近藤 しおり



日本糖尿病学会 COI 開示

演者名：近藤しおり

**本演目に関連し、
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。**

スライドをご提供下さった
済生会松山病院名誉院長 宮岡 弘明 先生
ありがとうございます

愛媛県における糖尿病チーム医療の歴史

1970年	愛媛糖尿病同好会
1994年4月	研修会準備会
1994年11月29日	松山糖尿病チーム医療研修会 設立準備会
1995年1月17日	松山糖尿病チーム医療研修会 第一回世話人会
1995年2月11日	松山糖尿病チーム医療研修会 設立記念講演会
1998年9月19日	第11回愛媛糖尿病チーム医療研修会
2000年	愛媛糖尿病療養指導士認定委員会
2001年3月	日本糖尿病療養指導士第1回認定試験
2002年4月	愛媛糖尿病療養指導士第1回認定試験
2005年2月27日	第30回愛媛糖尿病チーム医療研修会 10周年記念オープンセミナー
2015年3月21日	第50回愛媛糖尿病チーム医療研修会 20周年記念オープンセミナー
2022年9月10日	第63回愛媛糖尿病チーム医療研修会
2025年2月22日	第68回愛媛糖尿病チーム医療研修会 30周年記念オープンセミナー
2025年9月27日	第69回愛媛糖尿病チーム医療研修会

愛媛糖尿病同好会

松山赤十字病院名誉院長
故 桑島恵一 先生



糖尿病に興味をもつ医師らが
1970年に開始

・

・

・

・

年2-3回開催

・

・

2022年7月1日第153回で 一旦終了

愛媛糖尿病同好会史

回	年月日	所属	氏名	演題
第1回	昭和45年 6月28日	岡山大学第一内科	山吹 隆寛 助教授	糖尿病の診断
2	11月 8日	鳥取大学第一内科	平田 幸正 教授	糖尿病について
3	48年 3月15日	松山赤十字病院内科	桑島 恵一 部長	当院における糖尿病患者統計
4	5月17日	県立中央病院内科	藤山 正夫 医長	UDGPについて
5	7月19日	市立八幡浜病院内科	吉田 良一 院長	糖尿病と脂質代謝について
6	9月20日	神戸大学第三内科	井村 裕夫 教授	糖尿病
7	11月29日			症例検討
8	49年 2月28日			症例検討～とくに治療中のaccident～
9	5月30日	倉敷中央病院内科	楠本 享 教授	(肝疾患懇和会と合同) 肝性糖尿
10	8月 8日	松山赤十字病院眼科	幸塚 悠一 部長	眼科から見た糖尿病について
11	10月 5日	慈恵大学第三内科	阿部 正和 教授	糖尿病の診断と治療
12	11月21日			

1993年 全国病院栄養士協議会から
日本糖尿病協会が糖尿病療養指導士認定制度を
検討しているので、各県の病院栄養士は
糖尿病協会に入会して研修会をもつように指示あり。

**糖尿病の研修会を
開いてください**

**愛媛県立中央病院
藤井靖久 先生**

**うーん
わかった。**

**愛媛大学医学部附属病院
栄養課長
愛媛栄養士会会長
一色保子先生**

1994年4月

愛媛県は糖尿病の
チーム医療が
遅れているので
チームとしての勉強会を
行いましょう。

うーん
わかった。

愛媛県立中央病院
藤井靖久 先生

バイエル三共
永井恭輔 氏

1995年1月17日

松山糖尿病千一〇医療研修会第一回世話人会

代表世話人 愛媛県立中央病院
世話人 愛媛県立中央病院

松山赤十字病院

松山市民病院

済生会松山病院

愛媛大学附属病院

松山市医師会

藤井靖久(医師)
清水一紀(医師)
来嶋清子(看護婦)
古本峰子(栄養士)
高上悦志(医師)
林良美(看護婦)
梶原敬子(栄養士)
吉野内猛夫(医師)
川本かよ子(看護婦)
城戸三枝子(栄養士)
宮岡弘明(医師)
稲田紘子(看護婦)
貴田嘉一(医師)
一色保子(栄養士)
久野悟郎(医師)

千一ム医療研修会代表世話人・共催会社

第1回	1995年	藤井靖久先生		バイエル・三共
第13回	1999年	藤井靖久先生	(8年)	バイエルメディカル
第24回	2003年	清水一紀先生	(3年)	バイエルメディカル
第33回	2006年	宮岡弘明先生		バイエルメディカル
第35回	2007年	宮岡弘明先生		バイエル薬品
第50回	2015年	宮岡弘明先生		武田薬品
第61回	2021年	宮岡弘明先生	(16年)	大日本住友製薬
第63回	2022年	近藤しおり	(3年)	住友ファーマ

1995年～2004年	: 年3回開催
2005年～	: 年2回開催

松山糖尿病チーム医療研修会会則

平成8年4月1日

第2条(ゴール) 『患者の幸せ』

- 1.糖尿病チーム医療(患者会含む)により
合併症の進行を遅らせ、患者個人個人の
人生で色々なことを可能にする
- 2.糖尿病チーム医療により、患者個人個人の
医療知識レベルアップと、
適切な動機付けを行う

松山糖尿病チーム医療研修会会則

平成8年4月1日

第3条(目的)

- 1.患者を中心にした医療チームの研修会により、患者教育と合併症の進行阻止。
- 2.医療チームの研修会により、医師、看護婦、栄養士、保健婦、薬剤師、検査技師、その他医療スタッフは、お互いの仕事の共通理解と、患者の共通理解を重要なポイントとする。
- 3.長期的には、県民への糖尿病啓蒙活動（予防と早期発見、早期治療）を行う。
- 4.日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が検討している、コメディカルスタッフの**糖尿病療養指導士**(仮称)の認定に結び付ける。

愛媛糖尿病療養指導士 ECDE認定制度委員会

清水一紀先生、中村慶子先生を中心に
2000年に認定委員会が発足し、
2002年6月、第1回ECDE 89名を認定

松山糖尿病チーム医療研修会会則

平成8年4月1日

第4条（会 員）

- 1.糖尿病チーム医療に関心を持つ松山市及び
県内の医療機関で、医師、コメディカルスタッフの
チーム参加を原則とする。**
- 2. 新年度の1回目を総会とする。**

松山糖尿病千一ム医療研修会会則

平成8年4月1日

第5条（会 費）

- 1.参加費で運営する。**
- 2.外部講師招聘によるオープンセミナーの際は別途参加費を徴収する。**
- 3.学会等の最新情報の報告を行う。**

松山糖尿病千一ム医療研修会会則

平成8年4月1日

第12条（研修会の基本方針）

1.糖尿病学の基本知識の習得

**2.松岡健平先生の『糖尿病教室－開設から運営まで－』を
柱に現実問題と平行して討議する。**

3.学会等の最新情報の報告を行う。

松山糖尿病チーム医療研修会設立記念講演会

平成7年2月11日(土) 愛媛県医師会館

プログラム

1. 開会挨拶と研修会設立趣旨説明

(13:30~13:45)

藤井靖久(愛媛県立中央病院)

2. 各医療施設チーム医療の現状

(13:45~15:15)

司会 吉野内猛夫(松山市民病院)

3. 記念講演

(15:30~16:30)

『糖尿病治療 最近の考え方とチーム医療』

東京都済生会中央病院 副院長 松岡 健平 先生

司会 藤井靖久(愛媛県立中央病院)

4. 閉会挨拶

(16:30~16:40)

田中 昭(済生会松山病院)

松山糖尿病チーム医療研修会

共催

バイエル・三共株式会社

旧愛媛県医師会館



松山糖尿病千一医療研修会設立記念講演会

平成7年2月11日(土) 愛媛県医師会館

67施設 290名参加

講演
糖尿病治療
最近の考え方と千一医療
愛媛県医師会館 松山 健平先生



松山糖尿病千一〇医療研修会設立記念講演会

平成7年2月11日(土) 愛媛県医師会館

各医療施設千一〇医療の現状



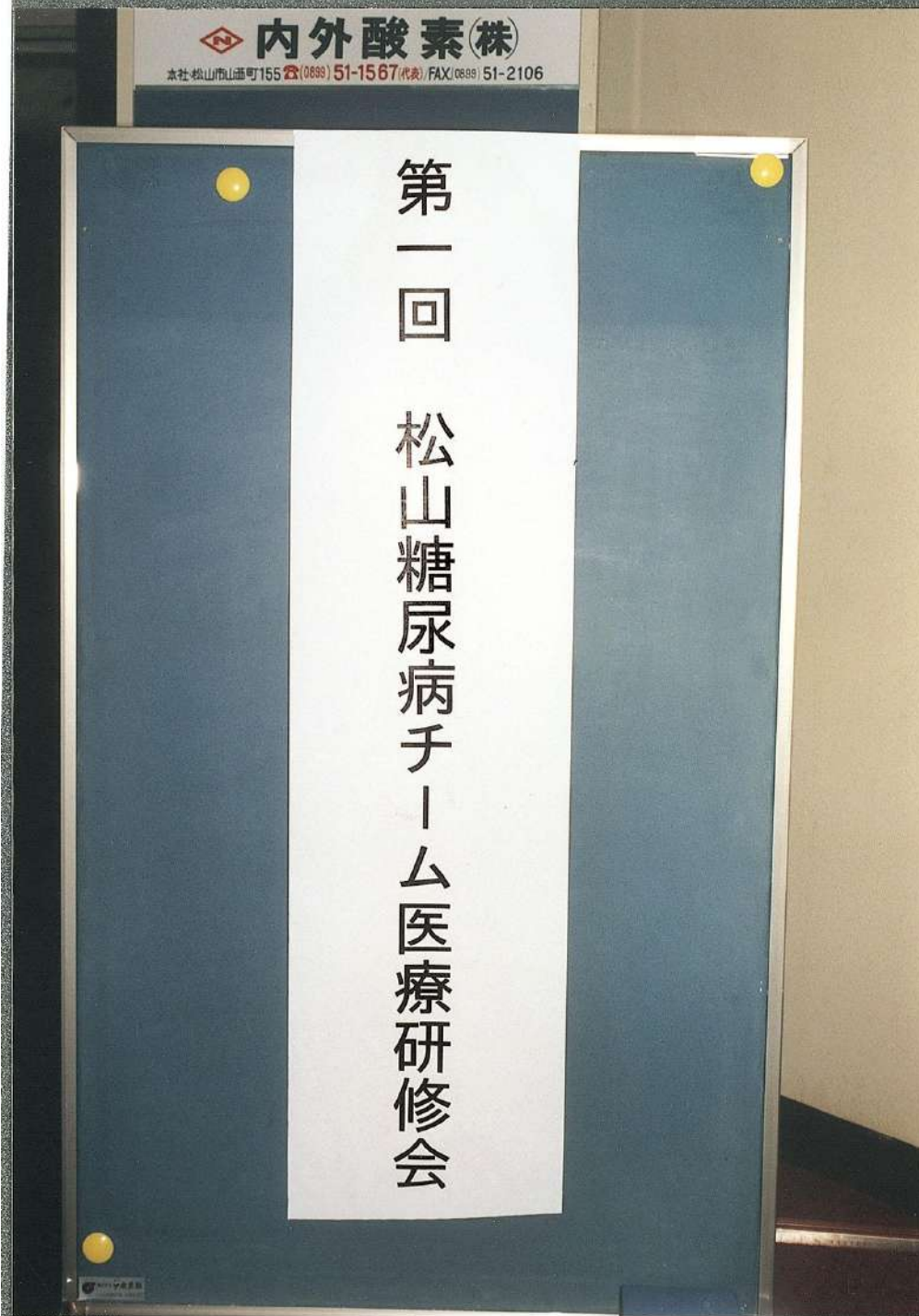
松山糖尿病千一〇医療研修会設立記念講演会

平成7年2月11日(土) 愛媛県医師会館

東京都済生会中央病院副院長
松岡建平 先生



演者



 **内外酸素(株)**
本社 松山市山面町155 ☎(0898) 51-1567(代表) / FAX(0898) 51-2106

第一回
松山糖尿病チーム医療研修会

平成7年6月3日

**51施設 281名
の参加**

第1回 松山糖尿病チーム医療研修会 ご案内

平成7年5月/日

謹啓

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

4月5日付けでご案内させていただきました通り、第1回 松山糖尿病チーム医療研修会を下記日程で開催いたします。

ご多用のところはなほだ恐縮とは存じますが、会員の皆様以外で、日頃糖尿病患者の診療と患者教育にたずさわっておられる第一線の医師、看護婦、栄養士、保健婦、薬剤師、検査技師他医療スタッフにも声を掛けて頂き皆様お誘い合せの上、ご参加を賜ります様ご案内申し上げます。

このご案内と施設会員リストを同封させていただきますので、各会員に配布頂き出欠を会員リスト摘要に記入の上、5月18日までに事務局宛に郵送又はFAXで返送頂ければ幸いです。

敬白

松山糖尿病チーム医療研修会 代表世話人

愛媛県立中央病院 内科 藤井 靖久

記

日時 平成7年6月3日(土) 15:00~18:00

会場 愛媛県医師会館 3階ホール

松山市 三番町 4-5-3 ☎(0899)43-7582

プログラム

1. 総会 開会挨拶、会則説明、世話人紹介、代表世話人 藤井靖久(愛媛県立中央病院)
(15:00~15:10)
2. アンケート分析報告 (15:10~15:20) 吉野内猛夫(松山市民病院)
3. 糖尿病教室一開設から運営まで一 勉強、実践先発表、討議
① 糖尿病教室を開設する。② 患者教育チームを編成する。③ 患者教育チームのかたち。
※ 解説 (15:20~15:50) 高上悦志(松山赤十字病院)
※ 実践先発表と討議 (15:50~16:50)
山根行雄 先生(十全総合病院) 司会 高上悦志(松山赤十字病院)
宮本正道 先生(みやもとクリニック) 宮岡弘明(済生会松山病院)
4. 講演『糖尿病発症のしくみとその病態』IDDMを中心にして(17:00~17:55)
貴田嘉一(愛媛大学医学部附属病院 小児科 教授) 司会 吉野内猛夫(松山市民病院)
5. 閉会挨拶と次回案内 (17:55~18:00) 藤井靖久(愛媛県立中央病院)

その他連絡事項

1. 参加費 1000円を受付にて徴収させていただきます。
 2. 教本(糖尿病教室…松岡健平先生執筆)を実費 1000円で販売させていただきます。
- 参加申込先 ☎ 松山市春日町 83 愛媛県立中央病院 栄養部 松山糖尿病チーム医療研修会 事務局
☎(0899)47-1111 内線 2007 FAX (0899) 43-4136

松山糖尿病チーム医療研修会
共催 バイエル・三共株式会社

松岡健平先生 著 糖尿病教室一開設から運営まで一 をテキストとして使用

日時 平成7年6月3日(土) 15:00~18:00

会場 愛媛県医師会館 3階ホール

松山市 三番町 4-5-3 ☎(0899)43-7582

プログラム

1. 総会 開会挨拶、会則説明、世話人紹介、代表世話人 藤井靖久(愛媛県立中央病院)
(15:00~15:10)
2. アンケート分析報告 (15:10~15:20) 吉野内猛夫(松山市民病院)
3. 糖尿病教室一開設から運営まで一 勉強、実践先発表、討議
① 糖尿病教室を開設する。② 患者教育チームを編成する。③ 患者教育チームのかたち。
※ 解説 (15:20~15:50) 高上悦志(松山赤十字病院)
※ 実践先発表と討議 (15:50~16:50)
山根行雄 先生(十全総合病院) 司会 高上悦志(松山赤十字病院)
宮本正道 先生(みやもとクリニック) 宮岡弘明(済生会松山病院)
4. 講演『糖尿病発症のしくみとその病態』IDDMを中心にして(17:00~17:55)
貴田嘉一(愛媛大学医学部附属病院 小児科 教授) 司会 吉野内猛夫(松山市民病院)
5. 閉会挨拶と次回案内 (17:55~18:00) 藤井靖久(愛媛県立中央病院)

平成7年6月3日
第1回松山糖尿病チーム医療研修会

会場は熱気に包まれ参加者のパワーに圧倒された



**チーム医療研修会創設当時は
「チーム医療」という
考え方は画期的でした**

チーム医療の推進について
(チーム医療の推進に関する検討会 報告書)

平成22年3月19日

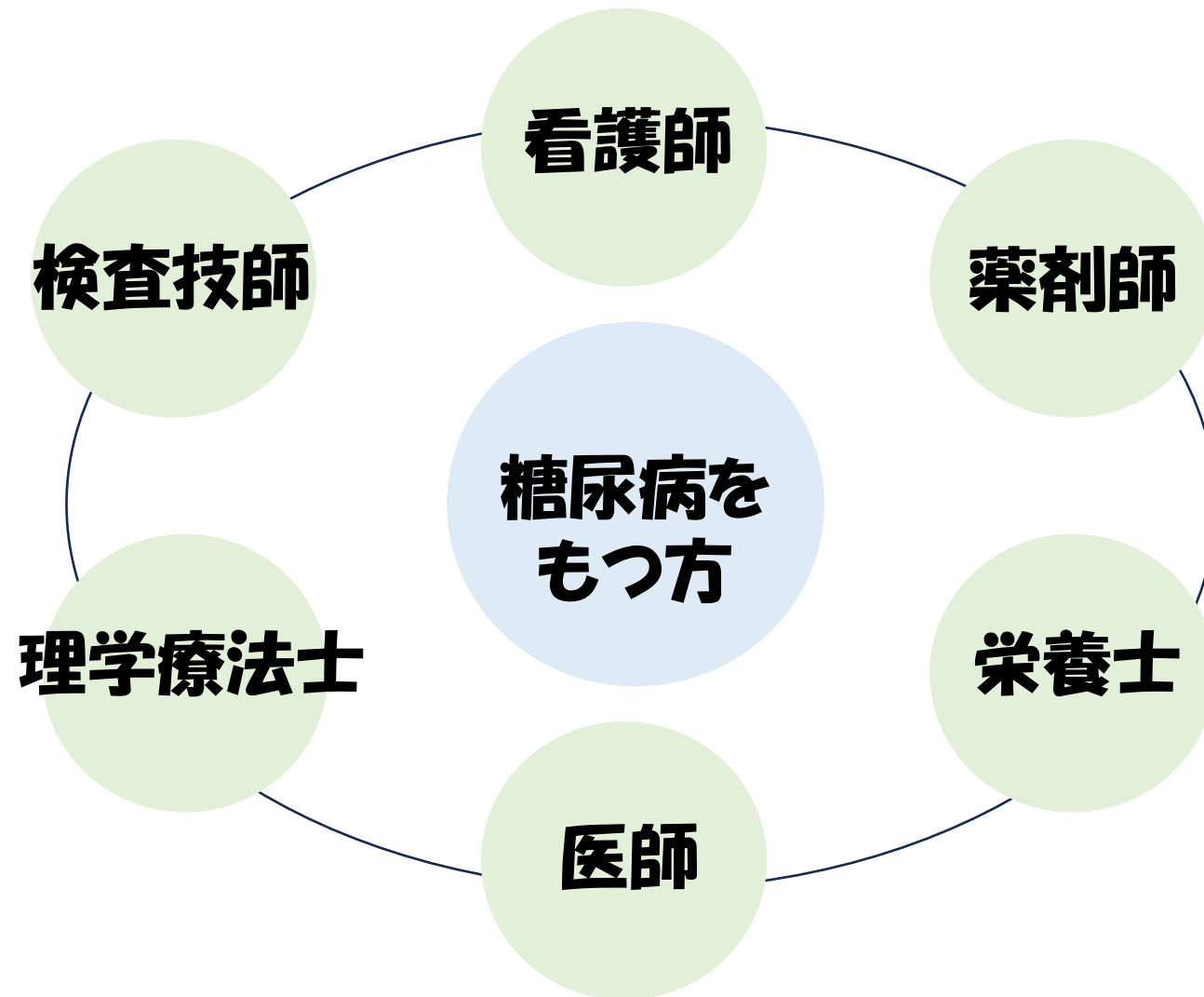
厚生労働省

本検討会は、平成21年8月に、「チーム医療を推進するため、日本の実情に即した医師と看護師等との協働・連携の在り方等について検討を行う」ことを目的に発足した。以来、11回にわたり、関係者からのヒアリングを行いつつ、検討を重ねてきたが、今般、その結果を報告書としてまとめるに至った。今後、厚生労働省を始めとする関係者がチーム医療を推進していく上で、本報告書を参考とすることを強く期待したい。

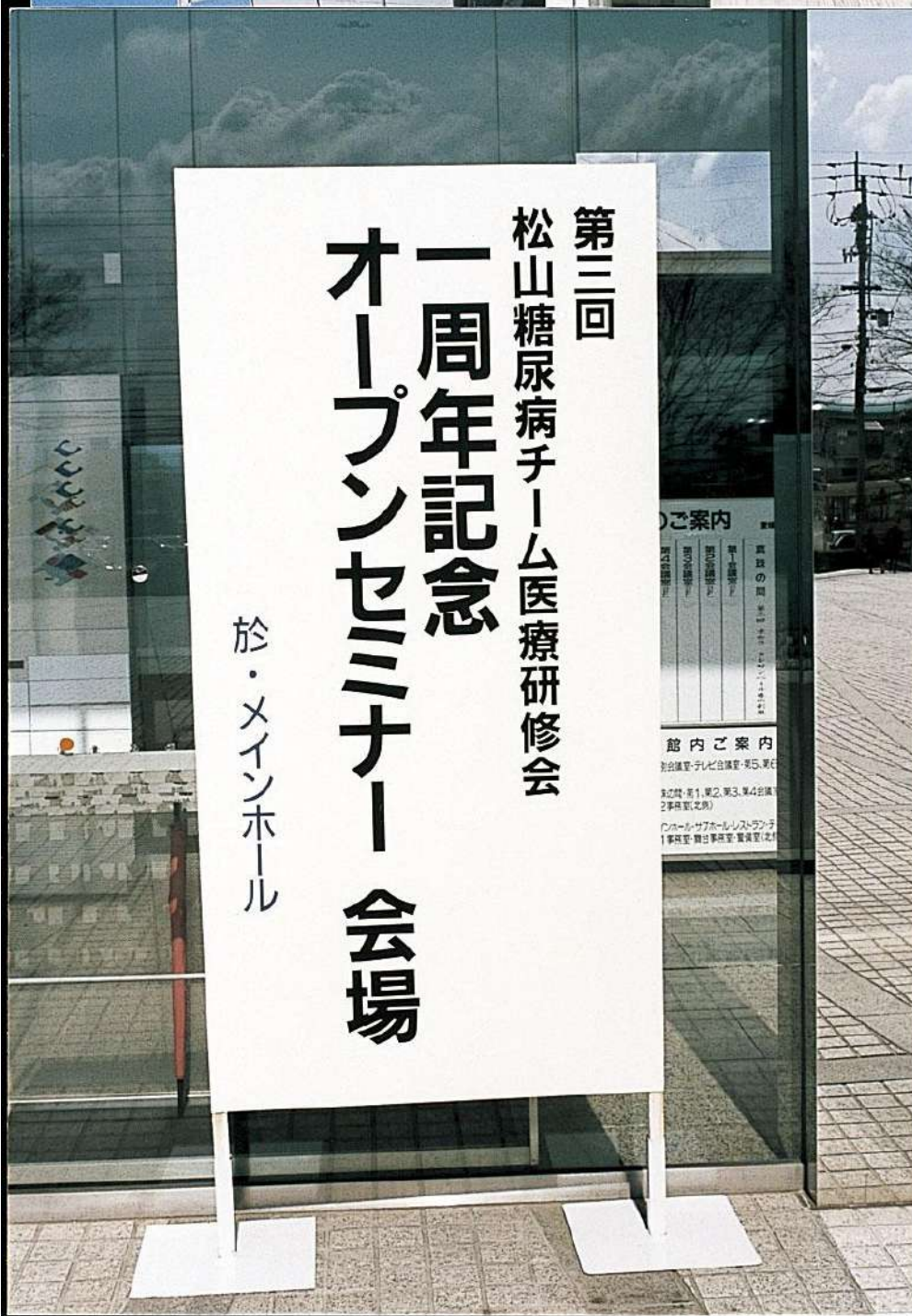
1. 基本的な考え方

- チーム医療とは、「医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」と一般的に理解されている。
- 質が高く、安心・安全な医療を求める患者・家族の声が高まる一方で、医療の高度化・複雑化に伴う業務の増大により医療現場の疲弊が指摘されるなど、医療の在り方が根本的に問われる今日、「チーム医療」は、我が国の医療の在り方を変え得るキーワードとして注目を集めている。
- また、各医療スタッフの知識・技術の高度化への取組や、ガイドライン・プロトコル等を活用した治療の標準化の浸透などが、チーム医療を進める上での基盤となり、様々な医療現場でチーム医療の実践が始まっている。
- 患者・家族とともにより質の高い医療を実現するためには、1人1人の医療スタッフの専門性を高め、その専門性に委ねつつも、これをチーム医療を通して再統合していく、といった発想の転換が必要である。
- チーム医療がもたらす具体的な効果としては、①疾病の早期発見・回復促進・重症化予防など医療・生活の質の向上、②医療の効率性の向上による医療従事者の負担の軽減、③医療の標準化・組織化を通じた医療安全の向上、等が期待される。
- 今後、チーム医療を推進するためには、①各医療スタッフの専門性の向上、②各医療スタッフの役割の拡大、③医療スタッフ間の連携・補完の推進、といった方向を基本として、関係者がそれぞれの立場で様々な取組を進め、これを全国に普及させていく必要がある。
- なお、チーム医療を進めた結果、一部の医療スタッフに負担が集中したり、安全性が損なわれたりすることのないよう注意が必要である。また、我が国の医療の在り方を変えていくためには、医療現場におけるチーム医療の推進のほか、医療機関間の役割分担・連携の推進、必要な医療スタッフの確保、いわゆる総合医を含む専門医制度の確立、さらには医療と介護の連携等といった方向での努力をあわせて重ねていくことが不可欠である。

糖尿病療養指導における**チーム医療**



それぞれの職種がそれぞれの専門性をもって指導



1998年3月3日
愛媛県民文化会館

1998年3月3日 愛媛県民文化会館

第3回 松山糖尿病チーム医療研修会
1周年記念オープンセミナー

「糖尿病教育看護婦導入後の10年のあゆみ」
講師／朝日生命糖尿病研究所 教育看護科 部長 杉田 和枝先生

特別講演
「糖尿病の新しい治療薬とチーム医療」
講師／東京慈恵会医科大学 循環器内科 教授 池田 義雄先生

松山赤十字病院
仙波昌三先生

済生会松山病院
宮岡弘明先生

朝日生命糖尿病研究所
杉田和枝先生

愛媛大学
一色保子先生

愛媛大学
中村慶子先生



1998年3月3日 第3回松山糖尿病千一医療研修会

117施設、563名 参加



1998年3月3日 杉田 和 第3回松山糖尿病千一ム医療研修会

特別講演

「糖尿病の新しい治療薬と千一ム医療」

池田 義雄 先生



生

1998年3月3日 愛媛県民文化会館

(医師会に認知してもらうことが必要)

松山市医師会長



久野 悟郎

司会

第10回松山糖尿病チーム医療研修会 ご案内

平成10年6月3日

謹啓

入梅の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第10回松山糖尿病チーム医療研修会を下記日程で開催いたします。

今回は『インスリン療法（Ⅱ）』がテーマです。看護婦、栄養士、臨床検査技師の立場から発表いただき、討議の予定です。松岡健平先生のテキストは今回で終了となりますが、当研修会のひとつの区切りとして、松岡先生には特別教育講演をお願いしています。

このご案内と貴施設会員リストを同封させていただきますので、各会員に配布ください。申し込みは、各会員リスト摘要に出欠をご記入のうえ、6月22日（月）までに下記参加申込先へ郵送（最優先）またはFAXで返送下さい（申込先が変わりましたのでご注意下さい）。また、今回のテーマについて前もって御質問があれば、FAXにて連絡下さい。

啓白

松山糖尿病チーム医療研修会 代表世話人

愛媛県立中央病院 内科 藤井 靖久

記

日時 平成10年7月4日（土） 13:10～17:00

会場 愛媛県医師会館 三階ホール
松山市 三番町 4-5-3 ☎（089）943-7582

プログラム

13:10～13:20 開会挨拶、総会、トピックス紹介 代表世話人 藤井靖久（県立中央病院）
13:20～13:30 アンケート集計報告 後藤純子（松山市民病院）
13:30～15:20 糖尿病教室－解説から運営まで－勉強、実践先発表、討議 司会 仙波昌三（松山赤十字病院）

インスリン療法（4）大荒れの血糖を鎮めるには（Ⅰ）
インスリン療法（5）大荒れの血糖を鎮めるには（Ⅱ）
（ コンプライアンスとは 教育要員の養成 } 教本93～112ページを
糖尿病診療における病診連携） よく読んできて下さい。
※解説 （13:30～14:00） 松浦文三（愛媛大学医学部三内）

※実践先発表と討議（14:00～15:20） 司会 仙波昌三（松山赤十字病院）
松浦文三（愛媛大学医学部三内）

河野真美 先生（松山赤十字病院 栄養士）
山崎知恵子 先生（愛媛大学医学部附属病院 小児科部長）
山内昌男 先生（済生会松山病院 検査技師長）

15:30～16:10 糖尿病の知識に関する自己評価 清水一紀（県立中央病院）
16:10～16:55 特別教育講演『糖尿病療養指導とSDM』 司会 一色保子（愛媛大学付属病院）
講師 松岡 健平 先生（東京都済生会糖尿病臨床研究センター長）
16:55～17:00 開会挨拶と次回案内 藤井靖久（県立中央病院）

その他連絡事項

- 参加費 お一人様 1000円を受付にて申し受けます。
- 教本（糖尿病教室…松岡健平先生執筆）を実費 1000円で販売させていただきます。

参加申込先 ☎ 791-8026 松山市山西町880-2 済生会松山病院（栄養科 小笠原）

松山糖尿病チーム医療研修会

☎（089）951-6111 内線180 FAX（089）953-3806

共催 松山糖尿病チーム医療研修会

バイエル・三共株式会社

後援（社）愛媛県栄養士会（社）愛媛看護協会

（社）愛媛県薬剤師会（社）愛媛県臨床衛生検査技師会

糖尿病教室－開設から運営まで－ の勉強が中心

第12回 愛媛(旧松山)糖尿病チーム医療研修会

4周年記念オープンセミナー ご案内

平成11年2月1日

謹啓 向春の候、益々ご清業のこととお慶び申し上げます。

平成7年2月に愛媛(旧松山)糖尿病チーム医療研修会を設立して以来、回を重ね、県医師会館で行われます当研修会は毎回300名近い参加を得ています。現在、会員登録数151施設1,036名に至っています。

今回は設立4周年を記念して、会員以外の方の参加を交えたオープンセミナーを企画いたしました。特別講師に太田西ノ内病院運動指導室 藤沼 宏彰 先生と松江赤十字病院第1内科部長 武田 倅 先生をお迎えし、糖尿病における運動療法の実際、近く制度化されるであろう糖尿病療養指導士について、それぞれご講演頂きます。

日頃、糖尿病の臨床に携わる医師、看護婦、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、保健婦、理学療法士、ケースワーカー等、皆様お誘い併せのうえ御出席賜りますようご案内申し上げます。 敬白

愛媛(旧松山)糖尿病チーム医療研修会 代表世話人 愛媛県立中央病院 内科 藤井靖久

日時 平成11年3月7日(日) 13:00~17:10

場所 松山市総合コミュニティセンター(カメラホール)
松山市湊町7丁目5番地 ☎(089)921-8222 (案内図 裏面)

プログラム

13:00~13:10	開会挨拶	代表世話人 藤井靖久(愛媛県立中央病院副院長)
13:10~14:00	特別講演 『運動療法の実際』 藤沼 宏彰 先生 (太田西ノ内病院 運動指導室)	司会 仙波昌三(松山赤十字病院薬剤部)
14:00~14:10	休憩	
14:10~16:10	シンポジウム『糖尿病チーム医療研修会を振り返る』 司会 清水一紀(愛媛県立中央病院内科部長) 川本かよ子(松山市民病院看護科) 田丸正明(済生会今治病院内科)	
14:10~14:30	「糖尿病チーム医療をはじめて」	
14:30~14:50	「当院における糖尿病チーム医療の現状と問題点」 名本康子(愛媛大学医学部付属病院看護部)	
14:50~15:10	「会員へのアンケート集計報告」	稲田祐子(済生会松山病院総務長)
15:10~15:30	「デンマークステノ病院の糖尿病研修に参加して」	山内美恵(愛媛県立中央病院薬剤部)
15:30~15:40	休憩	
15:40~16:10	上記講演の全体ディスカッション	
16:10~17:00	特別講演 『信頼される糖尿病療養指導士になるための勉強法』 武田 倅 先生 (松江赤十字病院 第1内科部長)	司会 貴田嘉一(愛媛大学医学部小児科教授)
17:00~17:10	開会挨拶、次回案内	代表世話人 藤井靖久(愛媛県立中央病院副院長)

申込み方法	葉書に御氏名、御職業、勤務先(住所、TEL含む)を御記入の上、下記申込み先へ 平成11年2月22日(月)までにお送り下さい (FAX可)
参加費	1000円を当日受付にて申し受けます
申込み先	〒791-8026 松山市山西町880-2 済生会松山病院(栄養科 小笠原) 愛媛糖尿病チーム医療研修会 宛 ☎(089)951-6111/内線180 FAX(089)953-3806

共催 愛媛(旧松山)糖尿病チーム医療研修会
バイエル・三共株式会社
後援 (社)愛媛県栄養士会 (社)愛媛看護協会
(社)愛媛県薬剤師会 (社)愛媛県臨床衛生検査技師会

学ぶことが研修会の 主体であったが

4周年記念セミナーでは 自分たちの 「糖尿病チーム医療を」 振り返ることができた

第13回愛媛糖尿病チーム医療研修会 ご案内

平成11年6月10日

謹啓

入梅の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第13回愛媛糖尿病チーム医療研修会を下記日程で開催いたします。当会も発足以来4年が過ぎ、13回目を迎えます。先般、5月13～15日に開催された日本糖尿病学会にて、糖尿病療養指導士認定制度が発足しました。それに伴い、研修会の運営方法も検討してまいりました。

今回より新たな試みとして、小グループでのワークショップ研修の場を開きます。また同時進行で、基礎的な知識の修得のためのレクチャーも始めます。どちらか一方を選択下さい。また、教育講演では、愛媛県における行政の取り組みと指針について、榎本先生に御講演を賜ります。

このご案内と貴施設会員リストを同封させていただきますので、各会員に配布ください。申し込みは、各会員リスト摘要に出欠をご記入の上（ワークショップは御希望のテーマをお選び下さい）、6月25日(金)までに下記参加申込先へ郵送(最優先)又はFAXで返送下さい（申込先が変わりましたのでご注意ください）。また、今回のテーマについて前もって御質問があれば、FAXにて御連絡下さい。

啓白

愛媛糖尿病チーム医療研修会 代表世話人
愛媛県立中央病院 内科 藤井 靖久

記

日時 平成11年7月3日（土） 13:00～17:00

会場 愛媛県医師会館 三階ホール
松山市 三番町4-5-3 TEL(089)943-7582

プ ロ グ ラ ム

- | | | |
|-------------|--|----------------------|
| 13:00～13:10 | 開会挨拶、総会、トピックス紹介 | 代表世話人 藤井靖久(愛媛県立中央病院) |
| 13:10～13:20 | アンケート集計報告 | 朝山糸江(愛媛大学医学部附属病院) |
| 13:20～13:30 | 各会場へ移動、休憩 | |
| 13:30～15:10 | <u>ワークショップ</u> | |
| | 1. 食事療法、運動療法はなぜできないか（定員20名） | 愛媛県立中央病院 |
| | 2. この2症例ーあなたならどうしますか、チームとしてどうしますか、ー（定員20名） | 愛媛大学医学部附属病院 |
| | 3. 重篤な足病変を呈した症例の問題点と対応について（定員20名） | 松山市民病院 |
| | 4. 規則正しい食生活が不可能な人の指導について（定員20名） | 松山赤十字病院 |
| | レクチャー（定員200名） | 司会 藤井靖久(愛媛県立中央病院) |
| | 1. 新しい糖尿病の分類と診断基準 | 大澤春彦(愛媛大学医学部附属病院) |
| | 2. 糖尿病の合併症について | 酒井武則(市立八幡浜総合病院) |
| 15:10～15:20 | 三階ホールへ移動、休憩 | |
| 15:20～16:00 | ワークショップ討議内容発表 | |
| 16:00～16:55 | 教育講演『愛媛県における健康づくり対策の今後』 | 司会 稲田紘子(済生会松山病院) |
| | 講師 榎本 真一 先生(愛媛県保健福祉部 健康増進課 課長) | |
| 16:55～17:00 | 閉会挨拶と次回案内 | 代表世話人 藤井靖久(愛媛県立中央病院) |

そ の 他 連 絡 事 項

参加費 お一人様、1000円を受付にて申し受けます。

参加申込先 〒791-0295 温泉郡重信町志津川 愛媛大学医学部附属病院（栄養管理室 一色保子）

愛媛糖尿病チーム医療研修会

☎（089）960-5207、5208 FAX（089）960-5136

共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会

バイエルメディカル株式会社

後援 (社)愛媛県栄養士会 (社)愛媛看護協会

(社)愛媛県薬剤師会 (社)愛媛県臨床衛生検査技師会

13回目の研修会（4年目）では 「ワークショップ」を組むことが できた

第23回愛媛糖尿病チーム医療研修会 ご案内

平成14年9月27日

謹啓

仲秋の候、先生におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第23回愛媛糖尿病チーム医療研修会を下記日程で開催いたします。予てより御要望のありました東予地区での研修会が、東予地区の諸先生方の御支援を賜り開催の運びとなりました。

今回の研修会では、教育講演に糖尿病の合併症（大血管症）につきまして虚血性心疾患を取り上げ、愛媛県立今治病院の小山先生に御講演を頂きます。また、日本CDE、愛媛県地域CDEやチーム医療を踏まえまして、東予地域の糖尿病治療の現状と展望を御講演頂きます。

このご案内と貴施設会員リストを同封させていただきますので、各会員に配布ください。申し込みは、各会員リスト摘要に出欠をご記入の上、10月16日(水)までに下記参加申込先へ郵送(最優先)又はFAXで返送下さい。また、今回のテーマについて前もって御質問があれば、FAXにて御連絡下さい。 啓白

愛媛糖尿病チーム医療研修会 代表世話人
愛媛県立中央病院 内科 藤井 靖久

記

日時 平成14年10月19日（土） 13:00～17:00

会場 リーガロイヤルホテル新居浜
新居浜前田町6-9 TEL(0897)37-1121

プ ロ グ ラ ム

13:00～13:10	開会挨拶	山根行雄（十全総合病院）
13:10～14:10	教育講演「糖尿病と虚血性心疾患」 講師 小山 靖史先生（愛媛県立今治病院 内科医長）	司会 清水一紀（愛媛県立中央病院）
14:10～14:40	チーム医療と愛媛県地域糖尿病療養指導士	清水一紀（愛媛県立中央病院）
14:40～15:00	休憩	
15:00～16:55	テーマ「 <u>東予地区の糖尿病地域医療</u> 」	司会 山根行雄（十全総合病院）
15:00～15:20	「チーム医療から地域医療へ」	今岡ゆか（十全総合病院 管理栄養士）
15:20～15:40	「栄養指導の継続とその効果」	清水 亮（愛媛労災病院 管理栄養士）
15:40～16:00	「糖尿病教育入院における、 PAIDを利用した個別指導の試み」	松田佳美（西条中央病院 看護師）
16:00～16:20	「住友別子病院における 糖尿病教育及び今後の課題」	相坂秀子（住友別子病院 看護師）
16:20～16:40	「外来での糖尿病治療－開業医の立場から」	宮崎修一（宮崎内科医院 院長）
16:40～16:55	全体質疑	
16:55～17:00	閉会挨拶と次回案内	山根行雄（十全総合病院）

そ の 他 連 絡 事 項

参加費 お一人様、1000円を受付にて申し受けます。

参加申込先 〒733-0035 広島市西区南観音 3-5-2 空港通りビル（飛鳥寛雄）
バイエルメディカル（株）愛媛糖尿病チーム医療研修会事務局
☎（082）295-8211 FAX（082）295-8453

共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会
バイエルメディカル株式会社

後援 （社）愛媛県栄養士会（社）愛媛看護協会
（社）愛媛県薬剤師会（社）愛媛県臨床衛生検査技師会

東予地区(新居浜市)での開催

東予地区の各施設の発表

第 26 回愛媛糖尿病チーム医療研修会 ご案内

平成 15 年 9 月吉日

謹啓 初秋の候 先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 26 回愛媛糖尿病チーム医療研修会を下記日程で開催いたします。予てよりご要望のありました南予地区での研修会が南予地区の諸先生方の御支援を賜り、開催の運びとなりました。

今回の研修会では、教育講演「消化器と糖尿病について」としまして、市立宇和島病院の今峰先生にご講演をいただきます。また、糖尿病療養指導士（CDE）の役割につきまして当研修会の世話人であり、愛媛 CDE の認定委員であります愛媛大学医学部看護学科の中村教授にご講演を頂き、また「南予地域における糖尿病チーム医療の現状」をテーマにシンポジウムを開催致します。

このご案内と貴施設会員リストを同封させていただきますので、各会員にお渡し下さい。申込みは、各会員リスト摘要に出欠をご記入の上、9 月 30 日（火）までに下記参加申込み先へ郵送又は F A X でご返送下さい。

謹白

愛媛糖尿病チーム医療研修会

会長 藤井 靖久（愛媛県立中央病院）

当番世話人 宮岡 弘明（済生会松山病院）

代表世話人 清水 一紀（愛媛県立今治病院）

記

日時：平成 15 年 10 月 5 日（日）13:00～16:40

会場：えひめ南 JA 会館（案内図 裏面）

宇和島市栄町港 3 丁目 303 TEL (0895) 22 - 8111

プ ロ グ ラ ム

13:00～13:05	開会挨拶、総会	山下 善正（市立宇和島病院）
13:05～14:00	講演「糖尿病療養指導に求められる役割 ～ 日本糖尿病療養指導士と愛媛糖尿病療養指導士 ～」 （質疑 5 分）	司会 宮内 美保子（市立宇和島病院） 講師 中村 慶子 先生（愛媛大学医学部看護学科 教授）
14:00～16:00	シンポジウム「南予地区における糖尿病チーム医療の現状」	司会 山下 善正（市立宇和島病院） 川本 龍一（町立野村病院）
14:00～14:15	「糖尿病における当院のチーム医療の現状」	渡辺 美保（市立宇和島病院 看護師）
14:15～14:30	「当院における糖尿病教育の現状について」	立木 由紀子（宇和島社会保険病院 看護師）
14:30～14:45	「当院における糖尿病診療 － 個別指導の現状と問題点」	佐藤 久美代（町立宇和病院 看護師）
14:45～15:00	「当院における糖尿病教育の現状」	兵頭 厚美（町立野村病院 看護師）
15:00～15:15	「当院における糖尿病教育の現状と課題」	加納 恵美子（町立吉田病院 看護師）
15:15～15:30	休憩	
15:30～16:00	全体討議	
16:00～16:35	教育講演「消化器と糖尿病について」 （質疑 5 分）	司会 宮内 省蔵（市立宇和島病院） 講師 今峰 聡 先生（市立宇和島病院 胃腸科科長）
16:35～16:40	閉会挨拶と次回案内	山下 善正（市立宇和島病院）

その他連絡事項

参加費 お一人様、1000 円を受付にて申し受けます。

参加申込先 〒733-0035 広島市西区南観音 3-5-2 空港通りビル（飛鳥 寛雄）

バイエルメディカル（株）愛媛糖尿病チーム医療研修会事務局

TEL：082-295-8211 FAX：082-295-8453

共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会

バイエルメディカル株式会社

後援 （社）愛媛県栄養士会 （社）愛媛看護協会

（社）愛媛県薬剤師会 （社）愛媛県臨床衛生検査技師会

南予地区（宇和島市）での開催

南予地区の各施設の発表

第 27 回 愛媛糖尿病チーム医療研修会 9 周年記念 オープンセミナー 御案内

平成 16 年 2 月 18 日

謹啓 向春の候 先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第 27 回愛媛糖尿病チーム医療研修会 9 周年記念オープンセミナーを下記日程で開催いたします。
愛媛糖尿病チーム医療研修会はこれをもって 9 周年を迎えますが、会員数も 1400 名を超え、その中には日本糖尿病療養指導士や愛媛糖尿病療養指導士の資格を取得される方も増え続けています。今回の研修会では、教育講演は糖尿病と高血圧を、特別講演は食事後の血糖と中性脂肪に関しまして関東学院大学の田中 明 先生に御講演いただきます。また第 9 回日本糖尿病教育・看護学会が本年 9 月 18 日～19 日に松山で開催されますが、それに向けてのシンポジウムも開催いたします。

申し込みは、ご施設名、ご住所、お電話番号、お名前、ご職業を普通用紙にご記入の上、3 月 10 日（水）までに下記参加申込み先へ郵送または FAX でお送り下さい。

謹白

愛媛糖尿病チーム医療研修会
会長 藤井 靖久（愛媛県立中央病院）
当番世話人 宮岡 弘明（済生会松山病院）
代表世話人 清水 一紀（愛媛県立今治病院）

日時：平成 16 年 3 月 13 日（土）13:00～17:00

会場：愛媛看護協会研修センター 大研修室（2 階）

松山市道後 2 丁目 11-14 TEL:089-923-1287

プ ロ グ ラ ム

13:00～13:05	開会挨拶	清水 一紀（愛媛県立今治病院）
13:05～14:00	教育講演「糖尿病と高血圧」 講師 高上 悦志 先生（松山赤十字病院）	司会 村尾 敏（松山市民病院）
14:00～16:00	シンポジウム 「第 2 世代糖尿病教室に期待する」	司会 中村 慶子（愛媛大学医学部） 上甲 悦子（愛媛県立中央病院）
14:00～14:15	「初めての糖尿病教室運営」	渡部 尚子（公立周桑病院）
14:15～14:30	「糖尿病教育における当院の取り組み ー 糖尿病新聞、ホームページを利用して」	秋川 沙織（村上記念病院）
14:30～14:45	「当院における糖尿病教育の現状」	水野 日出子（町立野村病院）
14:45～15:00	「チーム医療における愛媛 CDE としての関り」	越野 純子（住友別子病院）
15:00～15:15	休憩	
15:15～16:00	総合討議	
16:00～16:55	特別講演「食後高血糖と食後高中性脂肪血症」 講師 田中 明 先生（関東学院大学 人間環境学部健康栄養学科 教授）	司会 宮岡 弘明（済生会松山病院）
16:55～17:00	閉会挨拶	清水 一紀（愛媛県立今治病院）

その他連絡事

申込み締め切り日 3 月 10 日（水） 参加費 1000 円

参加申込み先 〒733-0035 広島県広島市西区南観音 3-5-2 空港通りビル バイエルメディカル（株）
愛媛糖尿病チーム医療研修会事務局（飛鳥 寛雄）TEL:082-295-8211 FAX:082-295-8453

※ 愛媛糖尿病療養指導士認定単位 3 単位：セミナー終了後、希望者には受講修了書をお渡します。

なお、今回は、日本糖尿病療養指導士の更新認定の単位を取得していません。ご了承下さい。

共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会

バイエルメディカル（株）

後援（社）愛媛県栄養士会 （社）愛媛看護協会

（社）愛媛県薬剤師会 （社）愛媛県臨床衛生検査技師会

「第二世代糖尿病教室」 の発表

第 28 回愛媛糖尿病チーム医療研修会 ご案内

平成 16 年 6 月吉日

謹啓 初夏の候 先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 28 回愛媛糖尿病チーム医療研修会を下記日程で開催いたします。今回の研修会では、第 3 回愛媛糖尿病療養指導士（愛媛 CDE）認定授与式と日本 CDE、愛媛 CDE の合格者がそれぞれの地域で実践している報告を行っていただき、教育講演では「肥満と糖尿病」のテーマで愛媛大学医学部の南先生にご講演をいただきます。

このご案内と貴施設会員リストを同封させていただきますので、各会員にお渡し下さい。申込みは、各会員リスト摘要に出欠をご記入の上、7 月 14 日（水）までに下記参加申込み先へ郵送又は FAX でご返送下さい。

謹白

愛媛糖尿病チーム医療研修会
会長 藤井 靖久（愛媛県立中央病院）
当番世話人 大澤 春彦（愛媛大学医学部）
代表世話人 清水 一紀（愛媛県立今治病院）

記

日時：平成 16 年 7 月 17 日（土）13:00～16:30
会場：南海放送本町会館 1 階テルスターホール
松山市本町 1 丁目 1-1 TEL (089) 933 - 5151

プ ロ グ ラ ム

13:00~13:05	開会挨拶、総会	清水 一紀（愛媛県立今治病院）
13:05~13:20	第 3 回愛媛 CDE 認定 認定授与式	清水 一紀（愛媛県立今治病院）
13:20~13:30	愛媛 CDE 実践報告 「私たちのチーム医療」 総合司会	中村 慶子（愛媛大学医学部看護学科）
13:30~14:00	東予地区のチーム医療・・・・・・・・・・ 司会	秋月妙子
	済生会西条病院 藤原睦子	
	県立今治病院 峰尾雅子	
	白石病院 原 弘子	
14:00~14:20	中予地区のチーム医療・・・・・・・・・・ 司会	日野 千秋
	城東病院 小笠原晴美	
	吉田病院 日野里美	
14:20~14:40	南予地区のチーム医療・・・・・・・・・・ 司会	兵藤 厚美
	市立宇和島病院 竹内信人	
	宇和島社会保険病院 藤原育	
14:40~14:50	総評・・・・・・・・・・・・・・・・	清水 一紀
14:50~15:00	休憩	
15:00~16:00	教育講演 「肥満と糖尿病」 司会	大澤 春彦（愛媛大学医学部）
	講師 南 尚佳 先生（愛媛大学医学部）	
16:00	開会挨拶	大澤 春彦（愛媛大学医学部）
16:30~	第 121 回愛媛糖尿病同好会	

その他連絡事項

参加費 お一人様、1000 円を受付にて申し受けます。
参加申込先 〒733-0035 広島市西区南観音 3-5-2 空港通りビル（飛鳥 寛雄）
バイエルメディカル（株）愛媛糖尿病チーム医療研修会事務局
TEL：082-295-8211 FAX：082-295-8453
共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会
バイエルメディカル株式会社
後援 （社）愛媛県栄養士会 （社）愛媛看護協会
（社）愛媛県薬剤師会 （社）愛媛県臨床衛生検査技師会

CDEとしての活動報告

第30回愛媛糖尿病チーム医療研修会 10周年記念オープンセミナーご案内

平成17年2月吉日

謹啓 向春の候 先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第30回愛媛糖尿病チーム医療研修会10周年記念オープンセミナーを下記日程で開催いたします。皆様のおかけを待ちまして、当研修会は10周年を迎える事ができました。今回の研修会は、記念講演、特別講演、特別セミナーと盛り沢山の内容となっています。特に、当研修会の発足に当たりご指導頂きました松岡健平先生を、再度お迎えできます事は、誠に感慨深いものがあります。

医師、薬剤師、看護師、保健師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士など糖尿病治療・療養指導に携わっていただける方々にご参加頂きたくお願い申し上げます(会員以外の方は当日受付にお出下さい)。 謹白

愛媛糖尿病チーム医療研修会

会長 藤井 靖久 (愛媛県立中央病院)

当番世話人 大澤 春彦 (愛媛大学医学部)

代表世話人 清水 一紀 (愛媛県立今治病院)

記

日時：平成17年2月27日(日) 13:00~17:00
会場：南海放送本町会館 1階テルスターホール
松山市本町1丁目1-1 TEL (089) 933-5151

プログラム

13:00~13:05	開会挨拶	当番世話人 大澤 春彦 (愛媛大学臨床検査医学・糖尿病内科)
13:05~13:35	記念講演 講師	「愛媛の糖尿病」 司会 高上 悦志 (こうのうえ内科クリニック) 藤井 靖久 先生 (愛媛県立中央病院 院長)
13:35~14:15	特別講演1 講師	「劇症1型糖尿病 司会 大澤 春彦 (愛媛大学臨床検査医学・糖尿病内科) ー愛媛スタディからの発信ー」 牧野 英一 先生 (愛媛大学医学部臨床検査医学・糖尿病内科 教授)
14:15~14:30	休憩	
14:30~15:30	特別講演2 講師	「糖尿病治療の進歩とチーム医療」 司会 清水 一紀 (愛媛県立今治病院) 松岡 健平 先生 (東京都済生会渋谷診療所 所長)
15:30~16:50	特別セミナー 「糖尿病教育：プロセスからアウトカムへ」	司会 宮岡 弘明 (済生会松山病院) 中村 慶子 (愛媛大学医学部看護学科) 講師 黒江 ゆり子 先生 (岐阜県立看護大学看護学部 教授) 森川 浩子 先生 (福井大学医学部看護学科)
16:50~17:00	実践事例提供 閉会挨拶	渡辺 佳代子 先生 (愛媛県立今治病院 愛媛 CDE) 代表世話人 清水 一紀 (愛媛県立今治病院)

その他連絡事項

参加費 お一人様、1000円を受付にて申し受けます。
研修認定単位 日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会〈第二群〉1単位 認定番号 04-606
愛媛糖尿病療養指導士認定単位 3単位
参加申込先 〒733-0035 広島市西区南観音3-5-2 空港通りビル(飛鳥 寛雄)
バイエルメディカル(株)愛媛糖尿病チーム医療研修会事務局
TEL:082-295-8211 FAX:082-295-8453

共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会

バイエルメディカル株式会社

後援 (社)愛媛県栄養士会 (社)愛媛看護協会

(社)愛媛県薬剤師会 (社)愛媛県臨床衛生検査技師会

10周年記念大会

愛媛県の糖尿病に関する 生き字引 藤井靖久 先生

愛媛県の糖尿病チーム医療の 見守り役 松岡建平 先生

愛媛糖尿病チーム医療研修会
10周年記念誌

健康な生活と幸せのために



「祖先の故郷」 松岡健平

2006年3月
愛媛糖尿病チーム医療研修会

123ページの大作

表紙の絵は松岡健平先生の絵が
いいのでは、と永井恭輔氏のアドバイス

記念誌編集担当

中村慶子(愛媛大学医学部看護学科)

横田真紀

飛鳥寛雄(バイエルメディカル株式会社)

法華津峠

記念誌編集担当

中村慶子

横田真紀

飛鳥寛雄

第44回 愛媛糖尿病チーム医療研修会 17周年記念オープンセミナー

平成24年3月

謹啓 新春の候 会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
第44回愛媛糖尿病チーム医療研修会17周年記念オープンセミナーを下記日程で開催いたします。今回の研修会では、特別講演Ⅰとして矢田部龍一先生に「東日本大震災の教訓と来る東南海・南海地震への備え」についてご講演を頂きます。また、特別講演Ⅱでは石巻赤十字病院 杉村和彦先生による「東日本大震災における当院での糖尿病患者への対応」についてご講演を頂きます。
レクチャーⅠは「愛媛県内の災害対策」を取り上げ、県庁の方、愛媛県立中央病院 濱見原先生にご講演して頂き、レクチャーⅡでは卸、看護師、患者、病院の対策を講師の先生方にレクチャーして頂きます。このご案内と貴施設会員リストを同封させていただきますので、各会員にお渡し下さい。申し込みは、各会員リスト摘要に出欠をご記入の上、3月7日（水）までに下記参加申し込み先へ郵送またはFAXで返送下さい。

謹白

愛媛糖尿病チーム医療研修会

代表世話人 宮岡 弘明（済生会松山病院 内科(甲状腺・糖尿病センター)）

当番世話人 近藤 しおり（松山赤十字病院 内科(糖尿病・代謝内分泌)）

日時：平成24年3月10日（土）13:00～16:50

会場：愛媛県看護協会

プログラム

13:00～13:05	開会挨拶	宮岡 弘明（済生会松山病院 内科(甲状腺・糖尿病センター)）
13:05～14:00	特別講演Ⅰ「東日本大震災の教訓と来る東南海・南海地震への備え」	
	司会 古川 慎哉（愛媛大学先端病態制御内科学(消化器、内分泌代謝、糖尿病内科)）	
	講師 矢田部 龍一先生（愛媛大学 副学長・防災情報研究センター長）	
14:00～14:30	レクチャーⅠ「愛媛県の災害医療体制について」	
	司会 戎井 理（愛媛県立中央病院 糖尿病内分泌代謝内科）	
	講師 森田 成之先生（愛媛県保健福祉部医療対策課 課長）	
14:30～15:00	「東南海・南海地震に備える災害医療：愛媛県の現状と課題」	
	司会 大沼 裕（愛媛大学分子遺伝制御内科学（糖尿病内科））	
	講師 濱見 原先生（愛媛県立中央病院 救急診療部主任部長・災害医療センター長）	
15:00～15:10	休憩	
15:10～15:55	レクチャーⅡ「糖尿病療法 災害に対する備え」	
	司会 新谷 哲司（松山市民病院 内科(糖尿病・内分泌)）	
	司会 山内 昌男（済生会松山病院 検査部）	
15:10～15:25	「地域・行政・病院参画型の災害ボランティア活動」	
	講師 山内 美砂子先生（愛媛大学医学部附属病院 看護部）	
15:25～15:40	「外来糖尿病患者の災害対策（アンケートをもとに）」	
	講師 中村 彰子先生（松山市民病院 看護部）	
15:40～15:55	「医薬品卸としての災害対策」	
	講師 磯田 幸裕先生（株式会社よんやく営業開発室 医療経営コンサルタント）	
15:55～16:45	特別講演Ⅱ「東日本大震災における当院での糖尿病患者への対応」	
	司会 近藤 しおり（松山赤十字病院 内科(糖尿病・代謝内分泌)）	
	講師 杉村 和彦先生（石巻赤十字病院 第五内科部長）	
16:45～16:50	閉会挨拶	近藤 しおり（松山赤十字病院 内科(糖尿病・代謝内分泌)）

その他連絡事項

申込み締め切り日 3月7日（水） 参加費 1000円（定員300名）

参加申込み先 〒790-0003 松山市三番町7-1-21ジブラルタ生命ビル4F バイエル薬品㈱

TEL:089-986-3895 FAX:089-986-3896

※ 愛媛糖尿病療養指導士認定単位 3単位：セミナー終了後、希望者には受講修了書をお渡しします。

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修単位＜第2群＞ 1単位（申請中）

共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会 愛媛大学防災情報研究センター バイエル薬品株式会社
後援（社）愛媛県栄養士会（社）愛媛県看護協会（社）愛媛県薬剤師会（社）愛媛県臨床衛生検査技師会

2012.3.10 第44回セミナー 17周年記念オープンセミナー

テーマ：災害

フットケア



十全総合病院
済生会松山病院
松山市民病院
西予市立野村病院

フットケア 総合討論

入力時間なし
23:34

司会



20周年記念大会

第50回 愛媛糖尿病チーム医療研修会 20周年記念オープンセミナー

平成27年3月吉日

謹啓 向春の候 先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第50回愛媛糖尿病チーム医療研修会20周年記念オープンセミナーを下記ご案内させていただきます。皆様のおかげを持ちまして、当研修会は20周年を迎えることができました。今回の研修会は、基調講演教育講演、シンポジウムと盛り沢山の内容となっております。特に当会の発足に当たりご指導頂きました松岡 健平先生をお迎えできますことは誠に感慨深いものがございます。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、作業療法士等多数の参加をお待ちしております。このご案内と貴施設会員リストを同封させていただきますので各会員にお渡しください。申し込みは、各会員リスト摘要に出欠をご記入の上3月18日(水)までに参加申し込み先へ郵送又はFAXにてご返送下さい。

謹白

愛媛糖尿病チーム医療研修会

代表世話人 宮岡 弘明 (済生会松山病院 内科(甲状腺・糖尿病センター))

当番世話人 大沼 裕 (愛媛大学大学院 糖尿病内科学)

日時：平成27年3月21日 春分の日(土) 13:00～

会場：愛媛県看護協会 看護研修センター 大研修室
松山市道後2丁目11-14 TEL:089-923-1287

プログラム(裏面)

連絡事項

申込み締め切り日 3月18日(水) 参加費 1000円(定員300名)

参加申込み先 〒790-0003 松山市三番町7-1-21ジブラルタ生命ビル4Fバイエル薬品㈱

愛媛糖尿病チーム医療研修会事務局 TEL:089-986-3895 **FAX:089-986-3896**

※愛媛糖尿病療養指導士認定単位 3単位

日本糖尿病療養指導士<第2群>1単位 申請中

日本臨床衛生検査技師会生涯教育専門 20点

共催 愛媛糖尿病チーム医療研修会 バイエル薬品株式会社

後援(社)愛媛県栄養士会 (社)愛媛県看護協会(社)愛媛県薬剤師会 (社)愛媛県臨床衛生検査技師会
(社)愛媛県病院薬剤師会 (社)愛媛県理学療法士会 (社)愛媛県作業療法士会

注意事項

日本糖尿病療養指導士認定機構へ参加者名簿の提出をすることになりました。つきましては会当日

認定番号5ケタ が必要となりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

～ 20周年記念オープンセミナー プログラム ～

13:00～13:05 開会挨拶 宮岡 弘明 (済生会松山病院 内科(甲状腺・糖尿病センター))

13:05～14:05 基調講演

「 寄り添う translational mission 」60分

司会 宮岡 弘明 (済生会松山病院 内科(甲状腺・糖尿病センター))
講師 松岡 健平先生 (済生会渋谷診療所 所長)

14:05～15:05 教育講演

「 施策立案に繋がるエビデンスの創出を目指して
～医療を動かすために必要なこと～ 」60分

司会 近藤 しおり (松山赤十字病院 内科(糖尿病・代謝内分泌))
講師 津村 和夫先生 (川崎市立川崎病院 糖尿病・内分泌内科 医長)

休憩 15:05～15:20

シンポジウム 各20分

司会 新谷 哲司先生 (松山市民病院 内科(糖尿病・内分泌))
司会 戎井 理先生 (愛媛県立中央病院 糖尿病・内分泌内科)

15:20～15:40 「 地域における糖尿病チーム医療の展望 」
講師 酒井 武則先生 (市立八幡浜総合病院 内科部長)

15:40～16:00 「 病院から在宅への継続した療養支援 」
講師 池田 洋子先生 (元松山在宅生活復帰支援センターハートフル済生会 看護師)
徳野 みどり先生 (済生会松山病院糖尿病認定看護師)

16:00～16:20 「 高齢者糖尿病の訪問診療の経験 」
講師 吉野 到先生 (吉野内科 院長)

16:15～16:20 閉会挨拶 大沼 裕 (愛媛大学大学院 糖尿病内科学)

千一ム医療研修会代表世話人・共催会社

第1回	1995年	藤井靖久先生	バイエル・三共
第13回	1999年	藤井靖久先生	バイエルメディカル
第24回	2003年	清水一紀先生	バイエルメディカル
第33回	2006年	宮岡弘明先生	バイエルメディカル
第35回	2007年	宮岡弘明先生	バイエル薬品
第50回	2015年	宮岡弘明先生	武田薬品
第61回	2021年	宮岡弘明先生	大日本住友製薬
第63回	2022年	近藤しおり	住友ファーマ

1995年～2004年	: 年3回開催
2005年～	: 年2回開催



2017/9/9 栄養指導

松山赤十字病院
河野真美さん

愛媛県立中央病院
山本真吾さん



愛媛大学グリーホールでの開催時には外で受付



テーマ（愛媛糖尿病チーム医療研修会）

第 36 回（平成 20 年 3 月 9 日）・・・運動療法/心理的介入

特別講演Ⅰ「糖尿病患者への心理的介入と認定看護師活動について」中山 法子先生

特別講演Ⅱ「笑は最高の抗がん剤」樋口 強先生

第 37 回（平成 20 年 8 月 2 日）・・・運動療法

特別講演「ウォーキングは面白い！！！」 忠政 啓文先生

第 38 回（平成 21 年 3 月 7 日）・・・食事療法/薬物療法

特別講演Ⅰ「糖尿病を食の情報巷にはびこる食のフードファシズム」高橋 久仁子先生

特別講演Ⅱ「やる気が出て行動につながるヘルスコミュニケーション」石川 雄一先生

第 39 回（平成 21 年 9 月 26 日）・・・薬物療法

特別講演「インスリン総論」戎井 理先生

第 40 回（平成 22 年 3 月 27 日）・・・薬物療法（インスリン）

特別講演Ⅰ「カーボカウント」佐野 喜子先生

特別講演Ⅱ「インスリンデバイス」朝倉 俊成先生

第 41 回（平成 22 年 10 月 16 日）・・・低血糖

特別講演「最近の新しい糖尿病治療薬について」大野 敬三先生

千一医療研修会世話人会 2013. 9. 4 松山市民病院

なごやかな世話人会



第 61 回 愛媛糖尿病チーム医療研修会 Web セミナー

2021 年 8 月吉日

謹啓

時下、先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。第 61 回愛媛糖尿病チーム医療研修会をご案内させていただきます。今回のテーマは特定検診について愛媛県での取り組みと現状を中心にお話を頂きます。加えて糖尿病と感染症について専門の先生からご講演頂きます。糖尿病全般の話題について興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、作業療法士等多数の参加をお待ちしております。

謹白

愛媛糖尿病チーム医療研修会

代表世話人 宮岡 弘明 済生会松山病院 内科(甲状腺・糖尿病センター)

当番世話人 宮岡 弘明 済生会松山病院 内科(甲状腺・糖尿病センター)

日時：2021 年 10 月 30 日（土）13：00～16：30

会場：愛媛県看護協会 看護研修センター 大研修室

松山市道後 2 丁目 11-14 TEL:089-923-1287

13:05～14:35 特別講演Ⅰ

司会： 松山赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 部長 近藤 しおり

テーマ：特定検診の現状と取り組み

「 協会けんぽ愛媛支部の保健事業について 」

演者： 全国健康保険愛媛県支部 保健師 岩永 直美 さん

「 国保におけるデータヘルス推進の取り組み 」

演者： 愛媛県国民健康保険団体連合会 保健事業課 大杉 美奈

「 糖尿病とうまく付き合っていくために 健保に関わる立場から 」

演者： 大王製紙健康保険組合 健康管理課 保健師 森實 智美 さん

一般演題

14:45～15:25

司会： 済生会松山病院 高垣 純子

「 今治市の取り組み 」

演者： 今治市 保険年金課 保健師 阿部 優子 さん

「 宇和島市の取り組み 」

演者： 宇和島市 保険健康課 保健師 末廣 瞳 さん

15:35～16:25 特別講演Ⅱ

司会： 愛媛大学大学院医学系研究科 糖尿病内科学 准教授 高田 康德

「 糖尿病患者における感染症対応 ～細菌感染症から COVID-19 まで～ 」

演者： 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科 准教授 末盛 浩一郎 先生

第61回 愛媛糖尿病チーム
医療研修会Webセミナー
2021/10/30

取り上げるテーマについての希望調査

2021 年11月3日

【調査の背景】

200人前 後あった参加人数が減少傾向にあります。世話人会で対策を検討した結果、今一度「皆さんが興味を持っている領域は何か？」を調査することでより有意義な会にする事ができるのではないかと

当会の会則 第2条（ゴール）『**患者の幸せ**』療養指導士の育成 20年経過した現在でも、『患者の幸せ』をゴールに掲げ、この会則に則って私たちは活動しています。**新人もいればベテランもいる**ので、テーマは基礎から応用まで多岐にわたると思います。お忙しい日常業務の中で回答戴くには、チェックで回答できるよう、あらかじめ選択肢を準備するのは如何でしょうか。「糖尿病療養指導ガイドブック」の目次を参考にしてみました。

アンケート結果

- 対象：メーリングリストに名前のある方々
- 回答数：51名 （2022年2月10日時点）
- 備考：できる限り簡素にご回答かつ回答数を得るために、職種などの個人情報の聞き取りはしていません
- 設問 1：愛媛糖尿病チーム医療研修会で聞いてみたいテーマについて選択頂けますでしょうか（3つ）
- 設問 2：その他、ご希望されるテーマがございましたらご教示頂けますでしょうか。

大日本住友製薬 田中敬也氏

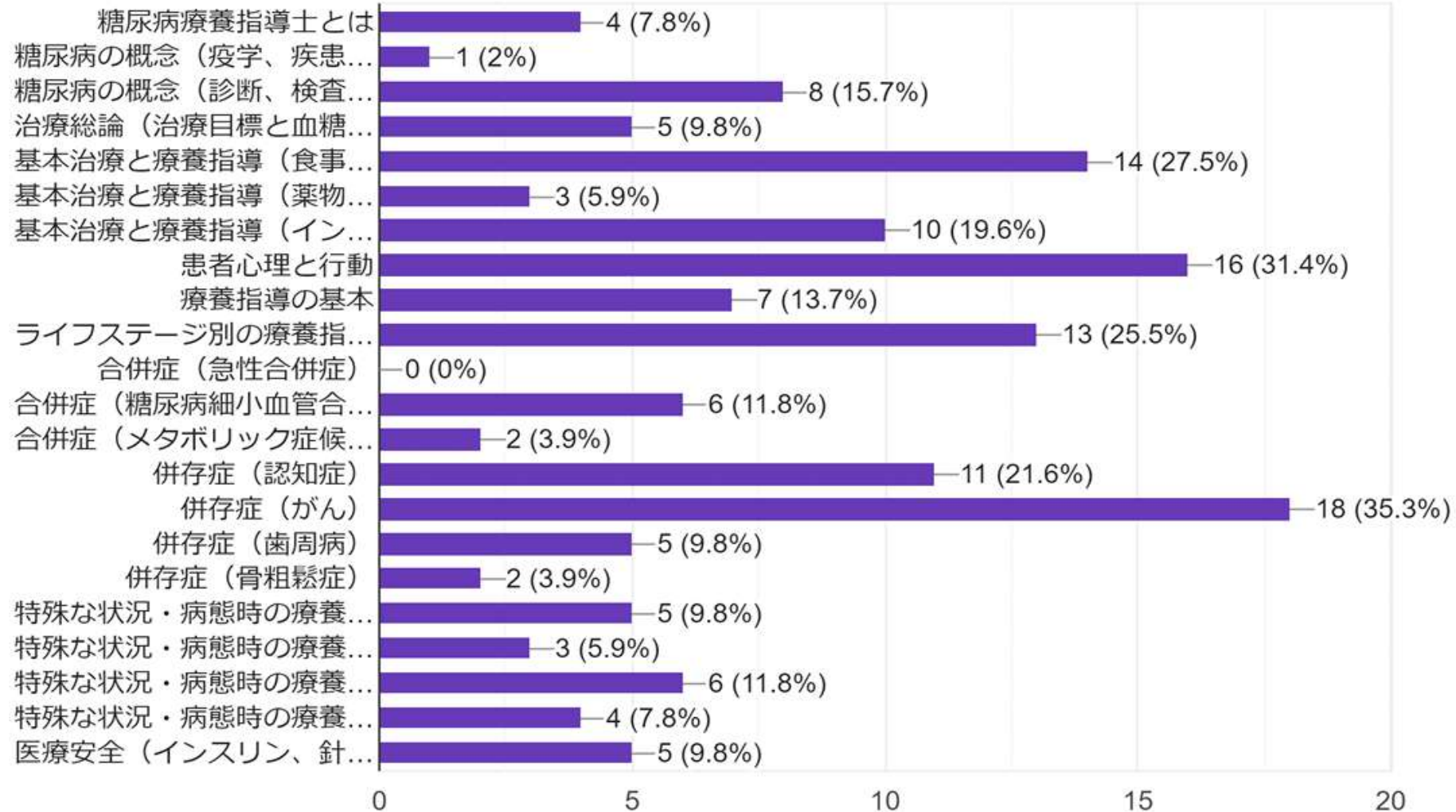
■設問 1：愛媛糖尿病チーム医療研修会で聞いてみたい テーマについて選択頂けますでしょうか（3つ）

1. 糖尿病療養指導士とは
2. 糖尿病の概念 a. 疫学、疾患概念 b. 診断、検査、分類
3. 治療総論 治療目標と血糖コントロール目標
4. 基本治療と療養指導 a. 食事療法 b. 運動療法 c. 薬物療法 d. インスリンポンプ、SAP療法
5. 患者心理と行動
6. 療養指導の基本
7. ライフステージ別の療養指導
8. 乳幼児期、学童期、思春期、妊娠出産、就労期、高齢期
9. 合併症 a. 急性合併症 b. 糖尿病細小血管合併症 c. 大血管合併症（動脈硬化症） d. メタボリック症候群
10. 併存症 a. 認知症 b. がん c. 歯周病 d. 骨粗鬆症
11. 特殊な状況・病態時の療養指導 a. シックデイ b. 低血糖 c. 周術期 d. 旅行 e. 災害
12. 医療安全 インスリン、針刺し、自動車運転等

結果

愛媛糖尿病チーム医療研修会で聞いてみたいテーマ...でしょうか（希望のテーマを3つご選択下さい）

51 件の回答



結果（10%以上の結果を順番に記載）

- ① 35.3% 併存症（がん） 第64回
- ② 31.4% 患者心理と行動 第66回
- ③ 27.5% 基本治療と療養指導（食事療法・運動療法）
- ④ 25.5% ライフステージ別の療養指導 第63回・第65回・第66回
（乳幼児期、学童期、思春期、妊娠出産、就労期、高齢期）
- ⑤ 21.6% 併存症（認知症）
- ⑥ 19.6% 基本治療と療養指導（インスリンポンプ・SAP療法）
- ⑦ 15.7% 糖尿病の概念（診断・検査・分類）
- ⑧ 13.7% 療養指導の基本
- ⑨ 11.8% 合併症（糖尿病細小血管合併症・大血管合併症）
- ⑩ 11.8% 特殊な状況・病態時の療養指導（周術期）

■ 設問 2 : その他、ご希望されるテーマがございましたら ご教示頂けますでしょうか。(1)

- 糖尿病の治療（内服薬・インスリン・GLP1作動薬注射）
- 調剤薬局での糖尿病患者の対応
- フットケアの実際
- コロナ禍で運動と疎遠になっている方も多い気がします。日常生活での基礎代謝の上げ方等気になるところです。
- 最新の治療について
- 糖尿病性腎症における療養指導の基本
- 久しく宮岡先生の講演を拝聴したいです。新しい作用機序のツイミグの使用例。

■設問 2：その他、ご希望されるテーマがございましたら ご教示頂けますでしょうか。（2）

- 個人的には自病院で経験できない内容のものを知識として具体的に知っておきたいです。患者さんと話すときにどこの病院に行ったら（内容によってはお店に行ったら）対応してもらえるという情報は役に立ちます。ライフステージに関してもこんなパターン、あんなパターンの一部でも知ることができたら自分に関わるときにこうしてみよう、こう考えてみようという参考になるので実際の話が欲しいかなと思います。
- 糖尿病とサルコペニア・フレイル
- 各施設での糖尿病教育の工夫など
- 治療中の方への生活習慣等に関する指導について、コツがあれば教えていただきたいです。
- ターミナル期に糖尿病療養について 心理等
- 高齢者の治療、指導について知りたい
- 災害

CDE希望者が減った?? → CDE仲間づくりを

- ✓急性期入院疾患に特化、慢性疾患外来の縮小.
- ✓治療薬の進歩で血糖マネジメント目的入院数が減少した.
→ 糖尿病患者さんに接する場面が限定的になった.
- ✓人手不足
- ✓チーム医療が浸透し、他にも「療養指導士」が増えた.
腎臓病療養指導士、心不全療養指導士etc.

糖尿病療養指導士を目指す人が減った??

CDE仲間づくり

愛媛糖尿病チーム医療研修会の現在

- 大学、基幹病院のスタッフが世話人となり、チーム医療の黎明期、各施設での糖尿病教室の設置運営を当座の目標とし、CDEの母体と位置付けた研修会として発足。
- 現在は、糖尿病専門クリニックや保健師も世話人に加わり、CDE(J/L)の活躍の場として、基礎から応用、その時々 of 社会要請に応じたテーマを協議：
フットケア、腎症重症化予防、特定検診、高齢者、医療と介護福祉の連携、災害時の行政との連携etc.

CDE仲間づくり 愛媛糖尿病チーム医療研修会の今後

- 「患者さんの幸せ」がゴールという30年前からの基本理念は変わらない.
- 超高齢化、糖尿病治療薬の進歩、社会、医療経済の変化etc.を踏まえ、現場に即した進化・深化を。

糖尿病治療の目標

